

おもいでぐさ

17号

発行日 2025年2月17日
発行所 安城学園高等学校同窓会
〒446-0036
安城市小堤町4-25
TEL.0566-76-5105
FAX.0566-72-2808
[E-mail] info@angaku.jp

卒業を祝して

心に刻まれている「真心・努力・奉仕・感謝」

安城学園高等学校同窓会
会長 瀬戸 藤代



高等学校3年間を終えられた卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業されると同時に、安城学園高等学校同窓会に入会していただくことになり、ありがとうございます。第21回目の新たな同窓生をお迎えできること、また入会の皆様に会報「おもいでぐさ」17号をお届けできることを大変に嬉しく存じます。

皆様は、校門南にある時計の記念碑をご覧になっていると思いますが、安城学園高等学校100周年を記念して、同窓会が寄贈した時計台があります。あれから12年、そこに刻まれている建学の精神「真心、努力、奉仕、感謝」は、皆様を見守ってきた時計であり、いまなお日時を経て歴史を刻んでおります。

この同窓会は、安城学園高等学校のあゆみと同時に、昭和21年に安城学園同窓会「勿忘草会」として発足され、昭和24年に大学、短大、高校の3つの合同の同窓会が活動し始めました。その後、平成16年3月に安城学園同窓会「勿忘草会」が解散し、平成16年10月24日、高等学校の部が独立し、「安城学園高等学校同窓会」として設立されました。安城学園高等学校同窓会会報「おもいでぐさ」は、平成22年2月発刊以来、卒業生の皆様にお届けしております。昭和24年3月に高校の「勿忘草会」同窓生は65名が、「安城学園高等学校同窓会」会員は、現在9,132名となり、「勿忘草会」会員を含めると37,244名となりました。

令和2年から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症から4年がたち、感染症法上の5類に移行されて1年となり、行動制限などは行われなくなり通常の生活を過ごして

おります。まだまだマスクの着用や換気への注意を払うものの、普段の社会生活を送ることができることに、改めて当たり前のことが当たり前のようにできる喜びを感じるものです。

特に部活動は、制限のあった時を経験してきた皆様にとって、部員一丸となって各大会の高みを目指し、目標達成に向けて努力してきたことは計り知れなかったことでしょう。先輩や後輩、そして指導して下さる顧問の先生、部活動を応援して下さる親御さん、また地域の方々、身の周りにいる人たちの応援や支援のおかげであることも忘れてはならない皆様の姿を見ることができました。この伝統ある安城学園の3年間で学ばれたことは、大いにこれからの人生の礎となっていくことでしょう。私も時代は違えども、部活動に明け暮れる中で、つらく苦しかったことを乗り越えてきた中には、心に刻まれた建学の精神、四大精神が息づいています。いまなお、皆様とともに創立者寺部だい先生の「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を心の学びを培い、これからの自分の志に向かって、社会へと羽ばたいていかれるのでしょうか。同窓生の一員として、母校への感謝の気持ちを込めて、安城学園高等学校のさらなる発展に、役員一同も皆様とともに尽力して参ります。

まずは、令和7年5月31日に開催予定の総会には、「還暦のお祝い」「二十歳のお祝い」を行います。学年幹事さん中心にお誘い合わせのうえ、ご参加をお待ちしております。

「同窓会の発展を願う」

理事長 寺部 暁



同窓会におかれましては益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、こどもたちを取り巻く社会環境が大きく変わりました。人間とAIが共に学び、共に働き、共に生きる時代と社会が来たのです。「誰でも無限の可能性を持っている」という創立者の信念に基づいて一人一人の潜在能力を可能性の限界まで開発する上で、AIは強力なツールになると考えています。このような中で創立112周年を迎えることができました。これもひとえに、在学生、卒業生、保護者、地域、職員の皆さまのお陰であります。心から感謝申し上げます。

ところで、この112年間学園とともに一緒に歩み続けてきた存在、それが同窓会です。学園がさまざまな困難と幾多の危機を乗り越えることができたのもこの存在のお陰です。同窓会が、現在では安城学園高等学校同窓会として分離独立して、これまで以上に活性化していることを高く評価しています。

最後に、「学校があつての同窓会、同窓会があつての学校」だと思います。貴同窓会が会長の下、今後益々発展されるとともに会員各位の皆様が「生きる意志と生きる力と生きる喜びに満ち溢れた人生を送ること」ができますよう心からご祈念申し上げます。

貴会への深い感謝

校長 熊谷 誠人



皆様こんにちは。令和6年4月より佐藤順先生のあとを受けて校長を務めております熊谷です。同窓会の皆様には、日ごろから母校への温かいお心遣いと多大なご支援をいただいておりますことを厚く御礼申し上げます。わけても今年度は、同窓会様からのご寄付によってスクールバスを増やすことができました。学校にとってこれ以上の喜びはありません。誠にありがとうございました。

去る令和6年11月21日に校内で開催された創立記念行事では、瀬戸藤代同窓会長様にご来校をいただき、テレビ放送を通して全校生徒に向けてのすばらしいメッセージをいただきました。その放送の中で、青色に彩られたスクールバスのデザイン画が紹介されましたが、それを知った生徒たちの喜びは一方ならぬものがありました。

安城学園高校は「本気で挑戦、全力で応援」をキャッチフレーズに、部活動がそれぞれに一生懸命に練習に励み、東海大会や全国大会にも出場するという大きな成果を収めています。その部活動だけでなく、リーダーズ・キャンプや各教科による宿泊セミナーなど、公立高校では見られない多彩な教育が展開されています。そうした特色ある活動を同窓会の皆様が温かく応援して下さっていると、本校の強味があると感じております。

僭越ですが今後とも引き続き母校へのエールを送ってくださるようお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。

第21回安城学園高等学校同窓会総会が開かれました。



日時 令和6年6月1日(土)午前11時～
場所 安城学園高等学校 視聴覚教室 (西館3F)

【総会】

1. 同窓会会長あいさつ
2. 理事長あいさつ
3. 学校長あいさつ
4. 議長選出
5. 議題
6. お祝い会
7. ミニ音楽会 吹奏楽アンサンブル

安城学園高等学校同窓会

～令和5年度事業報告～

- 役員会…………… (5月・7月・11月・3月)
- 総会案内発送…………… (4月)
- 第20回総会、幹事会…………… (6月)
- 学園祭パネル展示…………… (9月)
- 令和5年度第20回卒業生同窓会入会式…………… (2月)
- 会報「おもいでぐさ」16号発行…………… (2月)
- 部活動応援…………… (8月・12月・2月)

～令和6年度事業案～

- 役員会…………… (5月・6月・7月・11月・3月)
- 総会案内発送…………… (4月)
- 第21回総会、幹事会…………… (6月)
- 学園祭パネル展示…………… (9月)
- 令和6年度第21回卒業生同窓会入会式…………… (2月)
- 会報「おもいでぐさ」17号発行…………… (2月)
- 部活動応援…………… (通年)



学園祭



学園祭



同窓会総会

同窓会役員

顧問	寺部 暁(理事長)、 熊谷 誠人(学校長)、鶴田 紀美子、 森脇 康代
会長	瀬戸 藤代
副会長	藤井 京子、廣中 隆一、星野 訓代、 太田 久美子
幹事長	浅井 恵
書記	石原 美菜子、栞山 美鈴、 大隅 千明、石田 桂
会計	榊原 ゆり、神谷 美鈴
会計監査	深津 貴哉、星原 翔
学内代表	大久保 一代、三井 妙子
学外代表	小澤 望知仁、冬柴 惇至
相談役	鶴田 孝文(教頭)

幹事

令和4年度

普1組	岩瀬 理子
2組	吉永 壮
3組	香村 遥菜
4組	神谷 美葵
5組	石川 里奈
6組	岡部 敏正
7組	伊藤 汐音
8組	大谷 明璃
9組	長谷川 陽
10組	藤井 駿希
11組	田中 優月
12組	岡田 柊哉
商1組	松尾 歩乃佳
2組	深谷 和加

令和5年度

普1組	長岡 ハイッサ
2組	松原 雅怜
3組	伊藤 楓
4組	太田 帆奈
5組	澤田 叡自
6組	渡邊 美月
7組	妹尾 柚輝
8組	壁谷 咲良
9組	木村 妃依
10組	佐橋 愛乃音
11組	伴 陸生
12組	松原 海斗
13組	神谷 詩織
商1組	中井 鈴乃
2組	鈴木 あゆみ
3組	小川 ゆい

令和6年度

普1組	宮久保 璃佳
2組	宮村 美穂
3組	福岡 有紗
4組	大暮 久怜麻
5組	前田 梨乃
6組	原田 蒼真
7組	西川 歩吹
8組	大正 水流 海
9組	黒川 輝莉人
10組	岡田 和希
11組	木下 和希
商1組	野崎 優奈
2組	平林 蘭惟

※年次幹事は終身幹事です。

同窓生という「輪」

あの頃の厳しさがあって今がある

岩柿 富美子 さん (昭和58年度卒)



この度、『第21回 安城学園高等学校 同窓会総会』にて、昭和58年度卒業生の還暦祝い同窓会にご参加いただき、誠にありがとうございました。20歳の若き卒業生の皆さんと共に寺部だい先生のVTRを拝見し、「真心・努力・奉仕・感謝」の教えを改めて心に刻む、貴重な機会となりました。当時、学園祭でクラス全員が協力して準備した日のことや、遠足で友人と未来について語り合ったひとときが思い出されます。また、進路に悩んだあの頃、先生方が親身に話を聞いてくださったこと、何よりその温かいご指導のおかげで、今の自分があると感じます。その経験を経て、人生における「感謝」の大切さを学ぶことができました。

還暦を迎え、振り返ると人生は本当にあっという間です。しかし、青春時代に安城学園で学び、先生方や仲間から受けた多くの恩を思うと、今なお感謝の気持ちが尽きません。この気持ちを忘れず、建学の精神を胸に、これからも心新たに歩んでいきたいと思えます。

最後に、在校生の皆さんへお伝えしたいことがあります。高校生活は一度きりのかけがえのない時間です。勉強や部活動、友人との交流など、一つひとつを大切に過ごしてください。今の努力や経験が、必ず未来の自分を支えてくれます。この素晴らしい学園での時間を、どうか有意義なものにしてください。同窓の皆様と在校生のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

最後に、在校生の皆さんへお伝えしたいことがあります。高校生活は一度きりのかけがえのない時間です。勉強や部活動、友人との交流など、一つひとつを大切に過ごしてください。今の努力や経験が、必ず未来の自分を支えてくれます。この素晴らしい学園での時間を、どうか有意義なものにしてください。同窓の皆様と在校生のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

卒業生からのたより

今しかできないこと

野口 さくら さん (平成30年度卒)



私は現在、女子バスケットボールチーム「アインウイングス」に所属し、選手として活動しています。私がバスケットボールに真剣に向き合うきっかけとなったのは、高校時代に経験した数々の大会です。その中でも特に印象深いのは、2017年のウィンターカップで準優勝したことです。この経験を通じて、仲間とともに努力することの大切さや、最後まで諦めずに挑戦する強さを学びました。

在校生の皆さんには、ぜひ「今しかできないこと」に全力で取り組んでほしいと思います。高校の3年間は、夢中になれることを見つけ、それに向かって努力する貴重な時間です。失敗を恐れず、挑戦し続けた先には、きっとかけがえのない思い出や自分自身の成長が待っています。そして、充実した楽しい毎日を過ごし、卒業する頃には「悔いのない高校生活だった」と胸を張れるような3年間にしてください。

皆さんがそれぞれの道で輝くことを心から応援しています！

『感謝』の心を持ち続けて

松本 京子 さん (昭和58年度卒)



私は、生まれも育ちも蒲郡市です。安城学園女子短期大学大学附属高等学校(現在の安城学園高等学校)への進学が決まった際、「安城市までの通学ができるだろうか」と不安に思ったことを今でも鮮明に覚えています。しかし、その不安を抱えながらも新しい環境に飛び込み、高校生活を送ることができたのは、家族や周囲の支えがあったからと感じています。高校卒業後は、系列校である愛知学泉女子短期大学(現在の愛知学泉短期大学)の国際教養科秘書コースで学びました。ふとしたときに思い出すのは、私の母がよく言っていた言葉です。「何事も感謝の気持ちを持たないといけないよ。当たり前だと思ってはダメだよ」。この言葉は、安城学園の建学の精神である「真心・努力・奉仕・感謝」の「感謝」に通じるものであり、その重みを改めて噛みしめています。今年、令和5年9月、母は91歳で旅立ちましたが、私に「感謝」という大切な教えを残してくれたことに、心から感謝しています。

最後に、在校生の皆さんへお伝えしたいことがあります。それは、『感謝』の気持ちを忘れないでほしい、ということです。学校で学ぶ時間、周囲の人々からの支え、そして日々の小さな幸せに対して、感謝の心を持ち続けることで、皆さんの未来はさらに豊かで輝かしいものになると信じています。どうかその心を胸に、これからも一歩ずつ前に進んでください。

最後に、在校生の皆さんへお伝えしたいことがあります。それは、『感謝』の気持ちを忘れないでほしい、ということです。学校で学ぶ時間、周囲の人々からの支え、そして日々の小さな幸せに対して、感謝の心を持ち続けることで、皆さんの未来はさらに豊かで輝かしいものになると信じています。どうかその心を胸に、これからも一歩ずつ前に進んでください。

新たな可能性

鈴木 あゆみ さん (令和5年度卒)



安城学園高等学校を卒業してから、もうすぐ1年が経ちます。私は現在、愛知淑徳大学に進路を決め創造表現学部・創作表現専攻にて表現における様々なアプローチの方法を学びながら批評についても学んでいます。この批評は私にとって「新たな可能性」を広げるために必要な学びだと思い取り組んでいます。当時は級長という立場から行事を通して表現したいものを形にし、合唱部でのコンクールや定期演奏会でも自分たちのメッセージを表現してきました。それらは受け取ってもらわなくても評価もされるものだと思います。今まで評価される側だった視点から評価をする側の学びを得たことでこれは評価される側での経験に還元することができると気づきました。大学や専門学校、そして社会人とそれぞれの道を歩み始めていると思います。皆さんもこの長い道のりの中でまだまだ「新たな可能性」を見つけることができます。自分を信じて、歩みを止めないでほしいです。

皆さんもこの長い道のりの中でまだまだ「新たな可能性」を見つけることができます。自分を信じて、歩みを止めないでほしいです。

編集後記

安城学園高等学校同窓会会報17号発行ができましたことは、理事長様、校長先生のご支援のお陰と感謝申し上げます。

同窓会の目的は、会員相互の連携と親睦を図ると共に、安城学園高等学校の発展に寄与することです。毎年、学生のスポーツ、音楽、文化等々の成績は誇りであり、今後も、各分野でのご活躍に同窓会も心より応援し続けていきたいと思っております。

会員の皆様におかれましては、同窓会の諸行事に積極的に参加され盛り上げてくださることを期待します。

*会員の皆様の住所変更がありましたら、安城学園高等学校同窓会事務局にご連絡下さい。

2025年

同窓会総会案内

2025年5月31日(土)

11:00~12:30 安城学園高等学校

開催について、案内ハガキを発送いたします。多数のご参加をお待ちしております。

安城学園高等学校 同窓会会則

■第1章 名称及び事務局

- 第1条 本会の名称を安城学園高等学校同窓会と称する。
第2条 本会は、事務局を安城学園高等学校内に置く。

■第2章 目的と事業

- 第3条 本会は、会員相互の連絡と親睦を図るとともに、安城学園高等学校の発展に寄与することを目的とする。
又、安城学園の他の同窓会との交流を行い、親睦を図る。
第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1 会員の互助
2 会員名簿の整理
3 母校が行う事業への協力
4 安城学園の他の同窓会との交流及び親睦
5 その他、本会の目的達成に必要なと認められる事業

■第3章 会 員

- 第5条 本会は、次の会員により構成する。
正会員
1 安城学園女子短期大学附属中学校卒業生
2 安城学園女子高等学校卒業生
3 安城学園女子短期大学附属高等学校卒業生
4 安城学園高等学校卒業生
特別会員
教職員及び旧教職員

■第4章 役員幹事の選出方法及び任務

- 第6条 本会に次の役員を置く。
1 顧問 若干名
2 会長 1名
3 副会長 若干名
4 事務局長 1名(副会長が兼任)
5 幹事長 1名
6 書記 4名
7 会計 2名
8 監査 2名
9 学外・学内代表幹事 若干名
第7条 本会の役員を選出は、次の方法で選出する。
1 顧問は、安城学園長・同理事長、安城学園高等学校長、同窓会役員経験者とする。
2 会長は、役員会の推薦によって選出し、総会の承認を得る。
3 副会長は、2項に同じとする。
4 事務局長は、副会長の中から会長の委嘱によって定める。
5 幹事長は、会長の委嘱によって定める。
6 書記は、5項に同じとする。
7 会計は、5項に同じとする。
8 監査は、5項に同じとする。
9 学外・学内幹事は、5項に同じとする。
10 卒業年次ごとの幹事は、同期会員の互選による。

- 第8条 本会の役員、幹事には次の任務がある。
1 顧問は、本会に助言し諮問に応える。
2 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
3 副会長は、会長を補佐し、会長不在又は事故ある時はその代理をする。
イ すべての会の議事、資料作成 ロ 会の進行
4 幹事長は、幹事会を掌握し、幹事会を統括し、幹事の意向を役員に計る。
5 事務局長は、各会の事務運営を担当、処理する。
イ 通知文作成等 ロ すべての通信事務の指示
6 書記は、本会の運営上の記録、整理、保管をする。
イ 会員名簿の整理、保管、宛名ラベルの印刷
ロ 各会の議事録作成と保管
ハ 会報の発行等
7 会計は、本会の経理事務を処理する。
8 監査は、会計事務の監査に当たる。
9 幹事は、幹事長の指示により幹事会、総会等の会務を分掌する。
但し、学内の幹事は同窓会行事に積極的に協力する。
第9条 役員、学外・学内幹事の任期は、3年とする。但し、再選はさまたげない。
任期中に選ばれた場合は、残任期間とする。

■第5章 会 議

- 第10条 本会の会議は総会、役員会、幹事会とする。
1 総会は、年1回を定例とする。議長は、会長とする。
2 役員会は、年2回を定例とする。但し、会長は、必要に応じて開くことができる。
3 幹事会は、年1回を定例とする。但し、幹事長は、必要に応じて開くことができる。

■第6章 会費及び会計

- 第11条 入会金10,000円とし、会費は必要に応じて徴収する。
第12条 会費の徴収は、卒業年次四期の学納金納入時に徴収する。
第13条 本会は、入会金、会費をもって運営する。
第14条 本会の事業、予算、決算は、総会の承認を得なければならない。
第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。
第16条 本会の資産は、安城学園高等学校同窓会長名で銀行、信金、郵便局で保管する。

■第7章 通信及び事務

- 第17条 総会は、書面・インターネット・新聞広告等で通知する。
第18条 会員は、住所、氏名等を変更した場合は、本会に通知すること。

■第8章 支部会について

- 第19条 支部からの要望があれば、地域別の支部会を開催することができる。

■第9章 付 則

- 第20条 本会の慶弔規定は、その都度、役員会で協議する。
第21条 本会則の変更は、総会の議決により行うことができる。
・本会則は、平成16年10月24日より実施する。
・本会則は、平成21年9月26日 一部改正。
(但し、第6章会費は平成22年度より改正)
・本会則は、平成22年6月12日 一部改正。
・本会則は、平成29年6月3日 一部改正。
(第6条の9と第7条の1)

組織図

